学校番号	1207

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育科	科目	体育	単位数	3 単位	年次	2 年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館）						
副教材等	―						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動の中で、規律ある態度を身につけ、運動を効率かつ安全に取り組もう。
・運動の合理的な実践を通して技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わおう。
・体育の授業を通して、「する・見る・支える」などの多様なスポーツとの関わり方を楽しみ、豊かなスポーツライフの実現を考えてみよう。

2　学習の到達目標

・各種の運動を通じて、基礎体力と運動能力の向上をめざし、他者との関わりのなかで社会的態度を育て、自己の運動への関わり方を学び、実践する力を持つ。
・運動への感心や意欲を高め、運動の技能。知識・理解、思考力・判断力をバランスよく育て、学習したことを実社会で生かしきれる態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わっている。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組んでいる。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付けている。	知識を活用し、技能向上につなげている。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫している。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かしている。	記録の向上に積極的にチャレンジしている。 種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、戦術を考えたり、段階的な技能を身に付けている。 仲間と協働して各種目に取り組んでいる。	運動の技術の名称や行い方、体力向上、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史や文化的背景を学び、関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動 体つくり運動	オリエンテーション 集団行動 体ほぐしの運動	○ ○	○ ○ ○		○ ○	a:運動の楽しさ味わうことができ、体力の違いに配慮しようとすること、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	・受講態度の観察 ・ノート ・レポート
	球技 ネット型 ダンス 水泳（女子） 武道 陸上競技 球技 ゴール型（男子）	女子 バドミントン ダンス 水泳 平泳ぎ 男子 陸上競技 リレー ハードル走 ハンドボール 武道 柔道	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、効率的な技能を身に付けている。 d:技術の活用方法を理解している。	・受講態度の観察 ・ノート ・レポート ・技能観察
2学期	球技 ネット型 ダンス 器械体操 陸上競技(女子) 武道 陸上競技 球技 ネット型 水泳(男子)	女子 テニス ダンス 器械体操 跳び箱 陸上競技 リレー ハードル走 男子 陸上競技 走り高跳び 走り幅跳び バレーボール 水泳 平泳ぎ 武道 柔道	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、効率的な技能を身に付けている。 d:技術の活用方法を理解している。	・受講態度の観察 ・ノート ・レポート ・技能観察

2学期	体育理論 運動・スポーツの学び方	スポーツの技術と戦術 技能の上達過程と練習 効果的な動きの メカニズム 技能と体力 体力とトレーニング 運動やスポーツでの 安全の確保	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	a:スポーツにおける技術と技能の違い，戦術・作戦・戦略の違いについて，話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:スポーツにおける技術と技能の違い，戦術・作戦・戦略の違いについて，知識を活用した学習活動などにより，総合的に考え，判断し，それらを表している。 d:スポーツにおける技術と技能の違い，戦術・作戦・戦略の違いについて理解し，説明することができる。	・受講態度の観察 ・ノート ・レポート ・体育理論のテスト
3学期	陸上競技	陸上競技 長距離走	○	○	○		a:長距離走の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。自他の技能を客観的に判断しようとしている。 b:自己の課題に応じた目標設定ができている。 c:記録向上に努めている。	・受講態度の観察ト ・進捗状況シート ・技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。